

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00400502
基幹・一般の別（選択記入）	特定一般統計調査
調査の名称	大学等におけるフルタイム換算データに関する調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none">☐ 1.調査の目的☐ 2.調査対象の範囲 ※☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 }☐ 6.報告を求める期間 ※☐ 7.集計事項 ※☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 }☐ 9.使用する統計基準☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ }	全項目整合
-----------------------------	---	-------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②に記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	--

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	業務マニュアルの整備を令和7年度中に行い、次回の調査に資する。 加えて、直近の調査において、公表後に委託事業者の専用回答システムにおけるスクリーニング条件の設定ミスや、統計表集計時における操作や計算ミスなどを原因とする複数の数値の誤りが生じ、一時的に掲載を中止（現在は既に修正・公表済）したことから、次回調査では委託要件やチェック体制の強化などを行う予定。 なお、当該事業者は指名停止処分としている。	調査計画の見直し・改善 <input type="checkbox"/> 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 <input type="checkbox"/> 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み <input type="checkbox"/> その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 <input type="checkbox"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し <input type="checkbox"/> その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	科学技術研究調査における調査客体別の母集団数を把握し、そこから前回調査の回収率を加味した必要回答数を算定し、標本抽出率などを設定。 このため、精度管理の指標として回収率を設定している。		教員：53.8% 大学院博士課程の在籍者：50.7% 医局員：35.8% その他の研究員：48.3%	教員：63.5% 大学院博士課程の在籍者：54.0% 医局員：36.8% その他の研究員：51.2%	教員：67.2% 大学院博士課程の在籍者：58.3% 医局員、その他の研究員：47.6%
	<input type="radio"/> 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					